

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

これ以上のつめこみもう限界

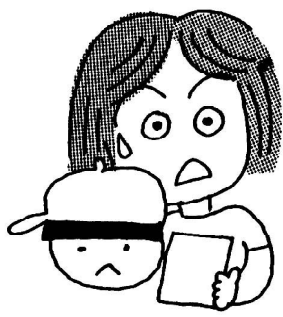
児童生徒の増加に見合った支援学校の抜本的増設を！



「特別教室をつぶして普通教室に転用することがまかり通るなんて、行政のいじめで障害児への人権侵害だ」自宅から40分で通学できていたのに通学区区域の変更で1時間以上バスに乗って通学している。いびつな人数合わせの校区再編はやめてほしい。生活圏や福祉圏を考慮せずに通学区区域を変更され、これまで使っていた放課後等デイサービスが受けられない。狭い学校で車いすや医療ケアの子がたくさんいるのに知肢併置になるのかと不安の声があがっている。6月15日、教育記者会で語られた支援学校に子どもを通わせる保護者のことばです。

「過大・過密」をいっそうすすめる

府教委「基本方針」

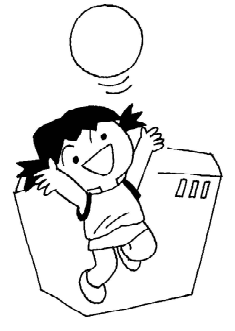


大阪府教育委員会以下府立支援学校における知的障がい児童生徒の教育環境の充実に向けた基本方針(以下「基本方針」)を発表しました。その内容は、府立支援学校に通う知的障害児童生徒数が20

26年度までに「約1400人増加する見込み」を示しながら、学校の新設は「600人程度」の規模で検討しようとするものです。これでは、「基本方針」がかかげる「支援学校における教育環境の充実」は望めず、「子どもの学習権」保障を放棄した態度と言わざるを得ません。

「基本方針」は、「特別教室の普通教室への転用」「通学区区域の変更」「知肢併置の拡大」「必要最小限の新校整備」等といったものにとどまっています。

「過大・過密」解消には学校建設しかない



2018年度、府内知的障害支援学校の在籍児童生徒が300人を超える学校は11校あり、25校ある大阪府立知的障害支援学校の約半数にせまるものです。府内支援学校の多くは、開校当初に想定した児童生徒数の規模を大きく超えており、特別教室の普通教室への転用が常態化し、「もともと何の教室かわからない」との声も聞かれています。

また、府教委は、この間、知的障害児童生徒の在籍増にともない、数合わせにしか過ぎない通学区区域の変更を重ね

てきました。「基本方針」においても、さらなる通学区区域の変更をかかげ、子どもたちの生活圏や福祉圏などを十分考慮せずに設定されている地域も多くあり、長時間通学が強いられるなど、困難を子どもと保護者に押し付けようとしています。

「知肢併置」の問題では、肢体不自由の子どもに合わせてつくられた学校に知的障害の子どもを通わせることは、教室不足に加え、運動場の狭さなど、肢体不自由と知的障害の双方の子どもたちにとって教育条件の悪化を生む要因ともなっています。

府立支援学校の「過大・過密」の解消には、学校建設が必要です。大阪府学校教育審議会(1992年)が150〜200人と答申した適正規模で地域に根ざした学校が適正に配置されるべきです。

「支援学校の新校整備を求める請願署名」のとりくみ全教職員への協力を呼びかけます



支援学校の新校整備を求める請願署名にとりくみます。当面、増加が見込まれる1400人に対応するために7校の新校建設を求めます。さらに、大阪府立支援学校の「過大・過密」を解消するため、地域に根ざした学校が適正に配置されるよう学校整備計画の策定を求めます。

大障教組員はもとより、全教職員に署名への協力を心より呼びかけます。

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



昨年12月、安倍内閣は、米国製の陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージスアショア」2基の導入を閣議決定しました。北朝鮮からアメリカに向かうミサイルを迎撃するためのものです。すでに今年度予算に計上されています。

しかし、米朝首脳会談での、朝鮮半島の完全な非核化の合意を受け、極めて厳しい安全保障の状況がもたらすより緩和された「日本にいつミサイルが向かってくるかわからない状況は明らかになくなった」などと、菅官房長官は認めました。アメリカの次期駐韓大使も、韓国に配備された防衛ミサイルは、北朝鮮の脅威がなくなれば、必要なくなる」と述べています。

こうした情勢の変化にもかかわらず、小野寺防衛大臣は、配備候補地である秋田県と山口県を訪れ、県知事に配備計画を説明しました。両県知事が配備見直しの必要性をたずねたのに、対し防衛大臣は、北朝鮮の実際の脅威は変わっていない。イージスアショアの整備には最低5年かかるが(北朝鮮の)政策は一瞬で変わってしまう。などと強弁したと報道されています。

山口県萩市では、住民説明会の2日後、現地調査のための一般競争入札が公告されました。地元からは、丁寧な説明したいといいながら、説明会からわずか2日後に公告を出すのは住民をだますようなやり方だ。北朝鮮が非核化する前に配備してしまいたいのではないかと、など批判の声もあがっています。

「イージスアショア」は1基約1千億円で、その上維持費も莫大です。税金を浪費し、朝鮮半島の平和秩序づくりに水を差す政策は、直ちにやめさせなければなりません。

大障教定期大会発言ダイジェスト その5

ずっと以前から続くろう学校4校の交流

生野聴覚支援学校分会 近山代議員



生野聴覚分会は、聴覚障害の先
生方にもたくさん組合には入って
いただいています。安全衛生委員
会は毎月開催していて、今年度4
月から休憩時間を変更しました。
安全衛生委員会でアンケートをと
り、実際に休憩時間を取りやすい

最後にろう学校の話ですが、私
は教員生活のほとんどをろう学校
で過ごしていますが、ろう学校の
話では、中央聴覚支援学校は絶対
に立て替えなければなりません。
これは、大阪のろう学校をどうす
るかということでも大事なポイント
になると思っています。「この間、
ブロック別教研が各地でとりくま
れています。ろう学校4校で
は、以前から交流をもっていました。
今年も6月に聴覚障害の先生
方にも集まってもらって新歓の学
習会をやる」と企画しています。

業務の実情に合った配置を

栄養教員部 武田代議員



栄養教諭は、36校に配置され
ていますが、その内の数校で病休
に入っています。また代替が決
まっていない学校もあり、組合の
先生にも力になっていただいでい
ます。また、中央聴覚では非常勤
ですが臨時技師がきました。組

合の運動の力です。
栄養教諭制度になって12年、
私たちは採用試験を受けて栄養教
諭になっています。でもなぜ代替
は行政職の臨時技師なのでしょう
か。教育庁には登録制度がなく、
1カ月探しても代替がないのは
ざらです。私が病休を取った時も
ハローワークで探しました。大阪
市は栄養教諭の代替は栄養教諭で
す。見習ってほしいです。先日も
病休中なのに学校で必死に発注し
ている栄養教諭がいました。旧大

阪市立からの移管、民間委託にあ
たる業務も栄養教諭がもとの仕事
にプラス としています。また、
アレルギーの問題は子ども命が
かかっています。業務負担、心の
負担は半端ではありません。やは
り複数配置が必要です。教育庁は
「食育は学校全体で行っている」と
言います。私たち専門職の仕事
を、どつやつて先生たちにしてま
らうのでしょうか。
先生方の声かけで、みんな心が
折れないようにがんばっています。
今年度もよろしく願いま
す。

幅広い世代で平和の思いを繋げていく

中央聴覚支援学校分会 堀部代議員



2004年に全国の「九条の
会」が発足し、その後全国にたく
さんの「九条の会」が生まれまし
た。そして、2006年3月に「ろ
う学校九条の会」を立ち上げまし
た。

町屋で交流会をおこない、家族を
含め22名が参加しました。その
後は年に1回、平和について考
え、語るとりくみの中で交流をお
こなってきました。近年は憲法学
習会の後、沖縄平和ツアーや原水
禁世界大会に参加した青年の報告
など、青年とともに交流の場がも
てるように活動してきました。

「ろう学校九条の会」の特色・魅力
は、転動されたOBと共に活動し
ていることです。先輩から現役、
若者へと平和への思いを繋いでい
ます。
今、職場の多忙化の中で、なか
な子どものごや平和や憲法に
ついて話す時間がありませんが、
今できる、楽しめる活動を通して
「職場9条の会」のとりくみに発
展させ、広がってほしいなと思
います。教職員組合のスローガ
ン「教え子を再び戦場に送らな
い!」、本当に送ってはならない
と強く願っています。これからも
幅広い世代で、ともに平和の思い
を繋げていこうと思います。



分会紹介

第22回

分会名：富田林支援学校分会

分会長：竹内 惇

障害種別：知的障害

児童生徒数：317人

どんな分会? : 年齢層も幅広く、元気のある分
会です。春には新転任の方を招いてハンバーグ
をふるまい、組合の活動を紹介したり、組合の
加入に関わらずカレーライスをふるまって日頃の
業務についてなどを話したりしています。5月
には毎年恒例のバーベキューがあり、30人以上
が参加し、小学部・中学部・高等部と学部
を越えて交流をしています。今年も企画してい
ましたが、残念ながら雨天のため、中止となり
ました。